

## 「第10回 2021年度秋田国際俳句コンテスト（英語部門）」 結果の翻訳

マクマレイ・デビッド

第10回秋田国際俳句コンテスト（英語部門・日本語部門・学生）の結果がまとまりました。5大陸、約13か国の小・中学生、高校生や大学生、そして一般の方々から516句の応募がありました。秋田国際俳句コンテストで鹿児島国際大学生5名が入選でした。

2021（令和3）年12月20日にコンテストの結果発表が行われ、日本語部門において、国際文化学科1年生が入選しました。お題は「幽玄」でした。

鹿児島国際大学国際文化学科2年生の奥村芽生さん、

冷たい風 一緒に香る 金木犀

寒い冬の始まりの到来を告げる花についてです。

今年度の同コンテスト英語部門には436句が寄せられ、学生は11か国（ガーナ、インド、日本、ネパール、ニュージーランド、ナイジェリア、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、ロシア、米国）から116句の応募がありました。社会福祉学科生と国際文化学科生の計4名の俳句が入選し、特選賞には国際文化学科2年生 坂本龍斗さんの俳句が選ばれました。

Grandmother's face  
wrinkles around the eyes  
proof of many smiles

上記の俳句は涙の耐性によって選ばれました。学生は祖母を愛していることが伝わります。日本語訳は「祖母の顔 目尻のしわ 笑顔の証」です。彼は教師を目指しているそうです。

また、3名は入選作品順不同です。

国際文化学科1年生の柴 遙花さんの俳句が選ばれました。

---

キーワード：英語教育、俳句、比較文化、コンテスト、言語連想法

even though it's autumn  
there are fireflies flying  
in my house at night

日本語訳は「秋なのに 蛍が飛んでる 夜の家」です。源氏蛍ホタルは5月の季語です。この俳句は、地球温暖化の影響を明らかにしています。柴さんは「初めて英俳句を作ったのですが、賞に選んでいただけて、とても光栄です。英語力をスキルアップするためにこれからも頑張っていきたいです」と話しました。また、彼女はこれからの英語俳句のモチベーションにつながったと思います。

社会福祉学科1年生の池田 蒼生さん,

Autumn breeze and  
Under the persimmon tree  
cool of the evening

日本語訳は「秋風と 柿の木の下 涼しいな」です。池田 蒼生さんは奄美大島出身です。上記の素晴らしい俳句は、秋の潮風のように新鮮です。学生は「Japanology」コースで英語俳句の書き方を学びました。

国際文化学科1年生茶屋道 南帆さん,

Blue sky disappeared  
Scent of a golden rhinoceros  
Coming of autumn

日本語訳は「青空が消えた 金木犀の香り 秋が来る」です。参加した英語教員志望の茶屋道さんは「慣れない英語俳句で賞をいただけて、とても光栄です。金木犀の香りから、秋のはじまりを表現しました」と話しました。紅葉の下に隠れているこのカブトムシを発見したのは幸運でした。彼女は自然が好きで学ぶ意欲が大いにあります。学生は「英語オーラル コミュニケーションⅡ」コースで英語俳句の書き方を学びました (図1)。

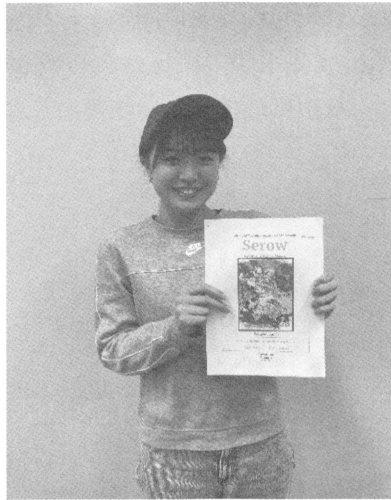


図1

昨年度の「Serow（カモシカ）」を持つ入選者の茶屋道さん  
傍注）マクマレイ研究室提供

*Journal of the Akita International Haiku Network*

# Serow

*Selected Haiku in English • Japanese • Russian*



*Featuring poetry by*

Barnabas Adeleke Margarita Bendrysheva Takahiko Kishino  
Priscilla Lignori Victoria Nepanova Mio Okata Leonid Startsev  
Luisa-Evelina Stifi Jin Wada

*Kamoshika*  
Volume 1  
Spring 2018

図2

昨年度の「Serow（カモシカ）、Volume 4」  
傍注）使用許可は出ました。

上記の詩人は、2022年3月に発行される俳句ジャーナル「Serow（カモシカ）、Volume 5」に掲載されます（図2）。コンテスト審査員は秋田国際俳句学科の蛭田秀法先生、秋田大学のベン・グラフストロム先生と本大学のマクマレイ・デビッドの3人で、それぞれの応募作品を注意深く読み、考えることに時間を費やしました。

秋田国際俳句ネットワーク主催及び秋田県、国際教養大学、秋田市、俳句ユネスコ登録推進協議

会後援です。同コンテストは、寄せられた句の優秀作品をインターネット上で共有し、異文化を持つ人々の間で相互理解を深めながら、世界平和の実現のための一助を目的として開催されています。鹿児島の生徒にとって国際俳句や秋田県の俳句に興味がある人々と繋がる事が出来たのは良い機会だったと思います。

#### 参考文献

秋田国際俳句ネットワーク. (2021). 第10回秋田国際俳句コンテスト結果 (英語部門・学生). <https://akitahaiku.com>